

適用題を効果的に使っていただくために

「プロジェクト研究」小学校国語科教育研究委員会では、適用題を「児童が単元を通して身に付いた力(指導事項)を活用して解く問題」として研究を進めてきました。本研究では、児童が単元を通して身に付いた力を活用することができ、教師が児童に身に付けさせたい力を確かめることができるような適用題の作成に取り組んでいます。

本研究で提案している適用題は、各学級で取り組む言語活動や授業の進め方によっては、そのまま使っていただくことが難しい場合があります。適用題や適用題作成準備シート(学習課題、言語活動、単元計画など)の内容を確認していただき、必要に応じて、紹介している適用題を学級の実態に応じて調整してお使いください。



◇◇◇ 適用題作成準備シート ◇◇◇

学年(2 年) 教材文「ビーバーの大工事」(東京書籍2年下)

ステップ
1

- ・ 児童に身に付けさせたい力を確認する(学習指導要領・教科書)。
- ・ 身に付けさせたい力を付けるためにふさわしい言語活動を設定する。

□ 児童に身に付けさせたい力

文章の中の重要な語や文を考えて選び出す力

□ 身に付けさせたい力を付けるためにふさわしい言語活動

動物の体の秘密や動物の特徴を「どうぶつのひみつしょうかいカード」に書く

ステップ
2

- ・ 学習課題を設定する(指導事項・思考操作・言語活動)。
- ・ 単元の指導計画を立てる。

□ 学習課題

A: 身に付けさせたい力(指導事項)

知りたいことを調べるときに、知りたいことに関係のある言葉を見付けることができる

B: 思考操作

ひみつが分かる言葉を選ぶ

C: 言語活動

「どうぶつのひみつしょうかいカード」に書く

【児童に提示する学習課題】

このたんげんでは、知りたいことをしらべるときに、知りたいことにかんけいのあることばを見付けることができるようになる学しゅうをします。

かだいは、ひみつがわかることばをえらび、「どうぶつのひみつしょうかいカード」に書くことです。

□単元の指導計画

(18) 時間

時間	主な学習活動
見通す 1	<ul style="list-style-type: none"> 全文を通読し、学習の流れを確かめる。 動物について書かれた本や文章などを読み、分かったことを「どうぶつのひみつしょうかいカード」に書くことや、学習課題を確かめ、学習の見通しを持つ。
自ら考える 対話する 2～ 8	<ul style="list-style-type: none"> 驚いたことや、すごいなと思ったことが書かれている言葉や文を探しながら「ビーバーの大工事」の内容を読み取る。 「どうぶつのひみつしょうかいカード」に書くことを確かめ、カードに書きたい言葉や文を選ぶ。 選んだ言葉や文を基にしてカードに書く。
自ら考える 対話する 9～ 17	<ul style="list-style-type: none"> ビーバーや他の動物について本を読んで調べ、「どうぶつのひみつしょうかいカード」に書く。 作ったカードで「どうぶつのひみつしょうかいカード」発表会をする。
振り返る 18	<ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返る。
※ 適用題の実施	

ステップ 3 ・適用題の作成

□適用題の内容

教材文「いろいろなふね」を使って、(「ふねのひみつしょうかいカード」 を書く) 言語活動の場面を想定した問題です。